

事例番号:300548

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第二部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

2 回経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 37 週 骨盤位のため妊娠 38 週 5 日に帝王切開予定

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 6 日

21:00 陣痛発来のため入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 37 週 6 日

22:03 破水

22:15 臍帯脱出を認める

胎児心拍数陣痛図上、遷延一過性徐脈を認める

22:44 胎児心拍数 50-100 拍/分台

22:51 臍帯脱出のため帝王切開により児娩出、骨盤位

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 6 日

(2) 出生時体重:2214g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.802、PCO<sub>2</sub> 110.3mmHg、PO<sub>2</sub> 33.4mmHg、  
HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 16.9mmol/L、BE -20.6mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 2 点、生後 5 分 4 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク、チューブ・バック)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死、低出生体重児

(7) 頭部画像所見:

生後 21 日 頭部 MRI で大脳基底核、視床の信号異常を認める

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 3 名、小児科医 3 名

看護スタッフ:助産師 4 名、看護師 2 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、臍帯脱出による胎児低酸素・酸血症であると考え  
る。

(2) 胎位異常(骨盤位)や低出生体重児が臍帯脱出の関連因子となったと考え  
る。

(3) 臍帯脱出の発症時期は、妊娠 37 週 6 日 22 時 13 分から 22 時 15 分頃である  
と考える。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理および骨盤位のため帝王切開予定としたことは、いずれも一  
般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 37 週 6 日の電話対応(腹部緊満、下腹部痛の訴えに対し受診指示)は  
一般的である。

(2) 入院後の対応(内診および超音波断層法施行後、分娩監視装置装着、上席医  
師に報告・相談)は一般的である。

(3) 妊娠 37 週 6 日 22 時 15 分に臍帯脱出を確認後、骨盤高位とし、「原因分析  
に係る質問事項および回答書」によると内診で胎児先進部を拳上させ、緊急  
帝王切開にしたことは適確である。

(4) 妊娠 37 週 6 日 22 時 15 分の臍帯脱出の診断から 36 分後に児を娩出した  
ことは一般的である。

(5) 臍帯血ガス分析(「原因分析に係る質問事項および回答書」によると臍帯動脈血ガス分析)を実施したことは一般的である。

### 3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクおよびチューブ・バッグによる人工呼吸、気管挿管)、および重症新生児仮死の診断で高次医療機関 NICU に搬送したことはいずれも一般的である。

## 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

なし。

#### (2) 国・地方自治体に対して

なし。